



大台町国民健康保険 報徳病院での活動報告

大台町国民健康保険報徳病院内科
刀根 克之 医師(三重23期)

大台町の概要

三重県多気郡大台町は、三重県の中南勢地域の南西部に位置し、面積は362.94km²で、その90%以上を山林が占め、県内の町では最大の規模を有している。また、大台ヶ原を源とする一級河川・宮川が町の西から東に流れている。

平成18年1月10日に宮川村と合併し、新たに大台町として発足した。

町域の一部は吉野熊野国立公園、奥伊勢宮川峡県立自然公園に指定されており、その豊かな自然を生かして、近年は集客交流にも力を入れている。

近年、高速道路紀勢自動車道の整備が着々と進み、平成18年3月には町内のインターチェンジまでの区間が開通し、今後は名古屋・京阪神方面へのアクセスが飛躍的に向上することから、東紀州地域の玄関口として、観光や企業立地の進展が期待されている。

気候は、比較的温暖な南海型気候区に属し、平成15年の年間平均気温は15.0℃になっているが、冬季は最低気温が氷点下になるところもある。

年間降水量は、3,310mm(過去5年間)で、宮川上流域では年間5,000mmに達するところもある。

人口は、昭和40年以降減り続け、平成18年4月末日現在11,172人となっており、うち65歳以上の高齢者は3,710人(33.2%)と、典型的な少子高齢化の進展を示している。

農林業従事者の高齢化や若者の都市圏流出による後継者不足が大きな問題になっており、町財政力の改善も見込めない状況で、町全体が過疎地域の指定を受けるに至っている。

報徳病院全景



大台町国保報徳病院の概要

- 沿革 昭和11年 4月 農業協同組合立簡易診療所として開設
昭和24年 4月 旧荻原村が有償で譲り受け、増設して25床の病院となる
昭和48年11月 2階建てに全面改装し、病床数38床となる
平成15年 現在の30床となる

- 診療科 内科(月～金)
整形外科(月・水・金)
眼科(火)
耳鼻咽喉科(水)

- 医師数 常勤医3名(全員が自治医科大学卒業生)、非常勤医4名

- 入院設備 一般病床30床

- 出張診療 町立大杉谷診療所(週2回)
宮川福祉施設組合立老人ホーム(週1回)
宮川福祉施設組合立特別養護老人ホーム(週2回)
民間グループホーム(週1回)
訪問診療・訪問看護・訪問リハビリ

施行可能な検査

レントゲン検査 (FCR)

透視 (胃透視・注腸)

CT検査 (ヘリカルCT)

骨密度検査

内視鏡検査 (胃カメラ・大腸カメラ)

心電図

24時間ホルター心電図

超音波検査 (心臓、腹部、血管)

呼吸機能検査

聴力検査

血液検査・血液ガス分析

内科常勤医

○院長 江尻 崇 医師
(昭和54年自治医科大学卒業)

○医員 刀根 克之 医師
(平成12年自治医科大学卒業)

○医員 森 将之 医師
(平成16年自治医科大学卒業)

このように、自治医科大学卒業生を中心に成り立っている。

365日・24時間態勢の当直業務も、この3人でやりくりしている。

一般病棟病室



一般病棟スタッフルーム



健診室



- この健診室で、一般住民健診、がん検診、事業所健診、人間ドックを実施している。がん検診については、地区単位で巡回もしている。

CT室



リハビリ室



薬局



- 当院では、患者さんの利便向上のため、院内処方としている。
しかし、全国的な医薬分業の流れもあり、院外処方も検討している。

歯科診療所



当院に隣接して、歯科診療所も設置されている。(病院とは別の民間組織)

大杉谷診療所



車で30分離れた大杉谷診療所に、週2回の外来診療を行っている。高齢者が特に多い地域で、ふもとの病院までの交通手段も限られているため、喜ばれている。

在宅医療



現在27名の患者さんに対し、往診している。写真は、97歳女性、脳梗塞後遺症、寝たきり、胃瘻栄養である。

公用車



訪問診察（往診）、訪問看護、訪問リハビリ、巡回検診、その他幅広い保健福祉事業において、公用車を活用している。

老人ホームでの訪問診察



老人保健施設(計3施設)の非常勤顧問医として、定期的に往診を行う。
入院を要するときは、すぐに対応可能である。

お達者健診



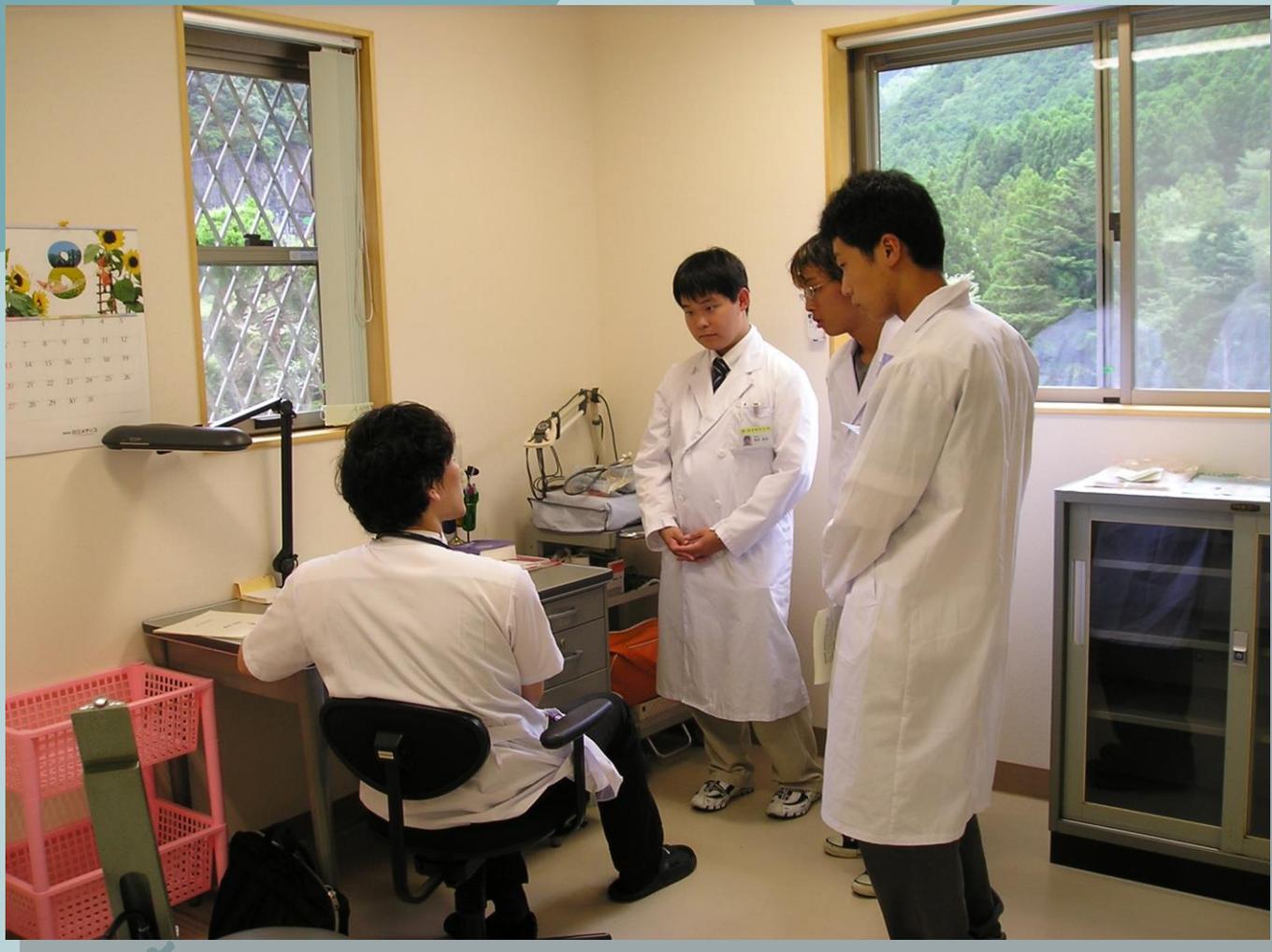
お達者健診では、小テストや運動テストを通じて、認知症患者の早期発見を目指している。認知症の疑いがある方には、保健師による自宅訪問や、地域レクリエーション活動への参加により、症状の進行を食い止める対応をとっている。

ケーブルテレビでの広報活動



ケーブルテレビに出演して、住民健診の案内を行っている。

学生実習



不定期に、自治医科大学や三重大学の医学生の実習を受け入れ、地域医療の現場を勉強してもらっている。

町営バス



高齢者の多い当院において、町営バスは病院受診の貴重な手段となっている。5方面からのバス路線すべてが当院を經由している。

町内の災害復旧工事



平成16年9月26日の台風21号に伴う集中豪雨(時間雨量:最大約139mm)では、町内で6名の死者・行方不明者を出した。この時は、病院としても、避難所を巡回して、被災者の臨時診療にあたった。現在もそのツメ跡が残り、復旧工事が続いている。

老人ホーム夏祭り



町内の老人ホームで行われる夏祭りに、病院職員がボランティアで参加し、地域住民との交流を図っている。